

令和8年度「論理国語」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
論理国語		必修	3	G C・文型
教科書	探求 論理国語（桐原書店）			
副教材等	語彙力をつける入試漢字 2600（筑摩書房）			

1 学習目標

それまでの学習内容を発展させ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。それとともに、近・現代の文章や価値観に対する理解を深められるようにする。
- (2) 論理的に考える力を身に付けたり、文章構造や展開方法を理解したりすることを通し、他者と関わり伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習概要

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的、批判的に考える力を伸ばしていく科目です。創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、高めたりすることを目指しています。近現代の論理的な文章や現代社会で必要とされる実用的な文章を読みながら、表現する力を高めます。

3 学習方法

(1) 授業への取組

授業は、教材について読み考え記述し、そして発表する場です。教師が板書することをノートに書き写すだけでは意味がありません。生徒の皆さん一人一人が積極的に授業に参加することが期待されています。

(2) 家庭学習

授業で扱う教材については事前に通読し、読めない漢字や意味の分からない語句については辞書で調べておきましょう。事前に通読・意味調べ等をするのとしめないのでは、理解に大きな差が生まれます。また、語彙力と読解力を強化するためには、日常的に活字に触れることが大切です。画像や動画といった視覚刺激に慣れすぎると、思考や発想が鈍くなります。ぜひ日々の読書を日課としてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能(①)」、「思考・判断・表現(②)」、「主体的に学習に取り組む態度(③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査(中間・期末考査、学力テスト)……………①、②
- ・小テスト……………①、③
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能(①)	思考・判断・表現(②)	主体的に学習に取り組む態度(③)
評価規準	生涯にわたる現実社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使用しようとしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者と伝え合う力を高め、思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめりごと）	考査等
一 学 期	【評論Ⅱ】 ・身体と出現（平野啓一郎） 【論文を読む】 ・淋しい人間―「こころ」を通じて （山崎正和） 【評論Ⅲ】 ・言葉の〈意味〉と〈表徴〉 （中村雄二郎） 【論文を読む】 ・ベルリンの「内」と「外」―「舞姫」を通じて （前田愛）	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。 ・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。 ・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化に対する見方を見つめ直し、芸術についての自分の考えを深める。 ・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。	中間考査 期末考査
二 学 期	【近代を見つめる】 ・娯楽について―「人生論ノート」より（三木清） ・侏儒の言葉（芥川龍之介） 【評論Ⅳ】 ・ファンタジー・ワールドの誕生（今福隆太） 【評論Ⅴ】 ・地図の想像力―ボードリヤールの寓話（若林幹夫）	・近代の知識人による日本文化・娯楽・アフォリズムについての文章を読んで、筆者の考えを理解し、「今」につながる近代という時代や文化を見つめ直す。 ・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化や世界に対する見方を見つめ直し、現代をどう生きていくかについて考える。 ・抽象性の高い評論文を読んで、文化の規範性と地図を媒介とした社会認識や真理を探究しようとする「知」への意志と民主主義との関係について考察する。また、これらの新しい知見を自らの社会生活に生かす。	学力テスト 中間考査 期末考査
三 学 期	【評論Ⅴ】 ・真理の探究と民主主義（河野哲也）	・抽象性の高い評論文を読んで、文化の規範性と地図を媒介とした社会認識や真理を探究しようとする「知」への意志と民主主義との関係について考察する。また、これらの新しい知見を自らの社会生活に生かす。	